

第55回新発田市入札監視委員会審議概要

開催日時及び場所	令和4年6月22日（水）午後3時00分～午後4時30分 新発田市役所6階 会議室601	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事 （1）抽出工事等の審議について （2）第56回委員会開催に伴う抽出委員の指定について （3）その他 	
委 員 (委員数5名) (出席数4名)	委員長 海藤 隆之 (弁護士) (出席) 委員 藤本 晃嗣 (大学教員) (欠席) 委員 齋藤 直 (税理士) (出席) 委員 渋谷 イミ子 (公募委員) (出席) 委員 佐藤 恭子 (公募委員) (出席)	
審議対象期間	令和4年1月1日～令和4年4月30日	
抽出案件	10件 (対象工事総件数15件)	
制限付 一般競争入札	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維創受第1号 蔵春閣周辺整備工事 ・ 受託第23号 旧市営中央パーキング解体工事 ・ 特加単第7号 加治川第3処理分区（3233他）管渠工事 ・ 街環第1号 街なみ環境整備事業（水のみち地区）親水広場等整備工事 ・ 受託第26号 新発田中井サービスセンターGHP空調機改修工事 ・ 受託第24号 豊浦保健センター空調設備改修工事 ・ 特加補第1号 加治川第2処理分区（522-1）マンホールポンプ設置工事 ・ 改整第10号 配水管入替3-10工区（開削）工事 ・ 改整第22号 配水管入替3-21工区（開削）工事

	公募型 指名競争入札	0件	
	通常 指名競争入札	0件	
	随意契約	1件	・受託第29号 蔵春閣附帯施設等整備工事
委員からの意見・質問、 それに対する回答		別紙のとおり	
委員会による意見の具 申内容		特になし	
その他		傍聴者4名	

意見・質問	回答
<p>1 議事</p> <p>(1) 抽出工事等の審議について</p> <p>① 第3三半期の契約等の状況</p> <p>契約状況について質疑なし。</p> <p>② 一般競争入札案件</p> <p>審議案件の抽出は、契約金額が高いものから抽出した。</p> <p>そもそも入札にあたって、予定価格及び最低制限価格は公表しているのか。</p> <p>入札の時点では予定価格及び最低制限価格は公表していないということか。</p> <p>特加補第1号 加治川第2処理分区(522-1) マンホールポンプ設置工事は、最低制限価格が12,880,000円であり、落札金額は12,890,000円、他入札参加者は10,000円ずつ高い入札金額となっている。落札金額が最低制限価格と同じであり、価格差も非常に少なく、価格が推測できるのではないかと疑問に思う。</p>	<p>委員1名が欠席であるが、委員5名中4名の過半数の出席で委員会が成立していることを報告する。</p> <p>・事務局より資料の訂正</p> <p>1ページ 当初契約額合計欄は単位が千円となっているが、数字は1円単位になっているため訂正する。</p> <p>27ページ 落札候補者の資格認定欄に入札参加資格要件1～9とあるが、1～8に訂正する。</p> <p>・事務局から資料に基づき説明</p> <p>・事務局から資料に基づき説明</p> <p>予定価格、最低制限価格は契約を締結した後、公表している。</p> <p>そのとおり。入札の前に公表はしていない。</p> <p>マンホールポンプ設置工事は、設置する機器の金額が工事価格の大部分を占めており、その他労務関係の金額のみを算定すればよいため、今回のような価格になったのではないかと推察する。</p>

意見・質問	回答
<p>落札価格の高い案件を比較すると、受託第23号 旧市営中央パーキング解体工事は、入札参加者が3者しかいないが、特加単第7号 加治川第3処理分区(3233他) 管渠工事は14者の参加がある。参加業者数の差が生まれる理由は何か。</p> <p>③ 随意契約案件</p> <p>・受託第29号 蔵春閣附帯施設等整備工事</p> <p>随意契約の理由については理解できる。工事価格が妥当かどうかはどのように判断したのか。</p> <p>(2) 第56回委員会開催に伴う抽出委員の指定について</p>	<p>受託第23号 旧市営中央パーキング解体工事は、特加単第7号 加治川第3処理分区(3233他) 管渠工事は、土木一式工事である。新発田市建設工事名簿に登録している解体工事業者は42者、土木一式工事Aランクは40者と差は少ない。ただ、受託第23号 旧市営中央パーキング解体工事は、比較的高度な技術が要求されるため、過去に地方公共団体が発注する鉄筋コンクリート3階建て以上且つ延べ面積1000㎡以上の建築物を解体した工事を元請で施工した実績と特定の技能講習を受講した者を技術者として配置することを求めているため、市内で参加可能な業者が少なくなったのではないかと推察する。</p> <p>・事務局及び工事担当課、工事予算課から資料に基づき説明</p> <p>現在、蔵春閣に関連する工事を進めている大成建設(株)北信越支店からの見積りを取り寄せ、費用の確認を行い、経費をできるだけ抑えるような観点で建築課と相談しながら行った。妥当性の判断の根拠を示すことは難しいが、工事の安全性も重視している。附帯施設等整備工事によりライフラインを確保しないと建築基準法上、消防法上建築の検査を行うことも出来ない。大倉文化財団が蔵春閣を寄贈し、その移築本体工事を受注した大成建設(株)北信越支店が管理費を含め、見積りを行うのが妥当であり見積り金額にも疑義はないことから妥当と判断した。</p> <p>第56回委員会の抽出は渋谷委員とする。</p>

意見・質問	回答
<p>(3) その他 第56回委員会開催日程について</p> <p>5 閉会</p>	<p>第56回委員会は、令和4年10月24日(月)15時開催とする(会議室501)。</p> <p>令和5年度から物品購入や業務委託も入札監視委員会の対象にするかどうか、次回委員会から検討したいため協力願いたい。</p>